



独自の技術と経験をもとに様々なご提案をしている富士通パートナー「富士テレコム」。お役立ち情報を皆様にお届けいたします。

◆ 今月のお役立ちテーマ ◆

① リーダー・管理職に大切な、声をかける！

長嶺堅二郎



松下電工(現パナソニック)入社。1999年より同社エイジフリー事業に転進。介護専用型有料老人ホーム「エイジフリー・ライフ大和田/星が丘」の経営・運営に携わる。高齢者住宅関連のコンサルティングやスタッフ研修、講演、執筆活動を行い、他に大阪市立大学大学院非常勤講師、全国有料老人ホーム協会・大阪府地域福祉推進財団研修講師、日本応用老年学会顧問を務め、福祉サービス第3者評価調査者、ライフサポートアドバイザーの資格をもつ。CSねっと企画合同会社代表。生き生き倶楽部代表幹事。

リーダー・管理職は全社的に広い視野を持って、広く部下を育成していくことが役割です。そうした中で心がけたいことは「積極的に声をかける」ことが一番大切だと思います。

私が20代の時、8階建てのビルで商品ごとに沢山の営業所があり、500人ほどの営業所員がいて、統括する営業部長が一人いました。その部長は所員全員の名前をフルネームで覚えていて、すれ違った時や巡回中に誰彼となく名前を呼んで声掛けするのです。私も名前を呼ばれて感動したことがあります。その部長は全所員に慕われ、職場全体にも活気があふれていました。自分もそういう上司になりたいと思ったものです。

自分の部署の部下だけでなく、施設全体の若手の職員や新人職員にも目を向けることが大切です。一言上司から声をかけられると、部下は緊張から解放され心が和む気分になるものです。この一瞬の接触をリーダー・管理職は大事にしなければいけません。名前と呼ばれる部下にとっては大きな喜びとなり、気にかけてくれている、育てようとしてくれている、評価してくれているかもしれない、見てくれているから頑張ろうと仕事に張りが出てくるものです。

その意味で名札を常につけておくことは良いことです。声を掛け合ったり、元気よく挨拶をしたりすることは、社内の雰囲気づくりにとって大切なことで、相手のことを気に掛ける思いやりであり、ちょっとした心の通じ合いが職場を明るくし、会社全体を活気づかせ、職員にやる気を起こさせる基になるのです。

心に思いやりを持たば、自然と品格のない、汚い言葉(呼び捨てなど)は出なくなるものです。部下の人格を認める言葉を使い、声をかけることによって上司は慕われ部下は喜びを持って仕事に取り組むことが出来るものです。個のスキルも部署の業績も上がっていきます。

あなたは何人の部下の名前をフルネームで覚えていますか！ 意識して声かけをしていますか！

② 介護施設の感染症対策

前田万亀子



編集会社およびデザイン会社勤務後、1993年にプランニングMakiを設立。多様な業種の広告・出版業務に携わり、大阪のATC エイジレスセンターに事務所を設置したのをきっかけに福祉・介護分野に取り組み始める。高齢者の聞き取り取材や自分史、DVDづくりを手がける。介護関係の出版物『認知症ケア』『リハビリ体操』『口腔ケア』(ひかりのくに株式会社)など多数。CSねっと企画合同会社所属。一般社団法人PORO理事
<http://omoido-poro.sakura.ne.jp/>

介護施設は免疫力が低下している高齢者の集団生活の場であるため感染が広がりやすく、どの施設もインフルエンザやノロウイルス(感染性胃腸炎)などの感染症予防対策に積極的に取り組んでいます。今年は特に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によって施設の負担は大変なものと思えます。こうした感染症は、施設内で自然発生することはまれで、施設の外部から病原菌が持ち込まれるケースがほとんどです。さまざまな人が出入りし、あらゆる人が病原体を持ち込む可能性があります。

主な感染経路は、接触感染、飛沫感染、空気感染の3通りで、感染予防の基本はひとえに、「自分が感染しない」、「人にうつさない」ことです。特にスタッフは高齢者と日常的に長時間接するため注意が必要です。●高齢者や施設の特徴、施設における感染症の特徴を知る。●感染症に対する基本的な知識の習得と日常業務における感染対策を実践する。●自らの健康を管理するなど。

介護施設の感染症対策は、国の方針、厚生労働省によって「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」でルール化されています(※)。マニュアルには、感染症に関する基礎知識や日常の管理方法、発生した場合の対応などについて示され、マニュアルに基づいて各施設独自に指針やマニュアルを作成し、対策が実践されています。感染症拡大防止のための対応として、①施設内に感染対策委員会を設置。②スタッフが実践しやすいマニュアルを作成。③スタッフを対象とした定期的講習会や研修を開催など。高齢者の健康状態の把握として、一人ひとりのスタッフが感染症に対する正しい知識を持ち、何が危険かを理解して、高齢者やご家族が不安にならぬよう配慮しましょう。

コロナの予防や対策についてはまだまだ不明なことも多く、早く終息してくれることを願っています。

※「高齢者介護施設における感染対策マニュアル(2020年6月改訂版)」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf>

IT導入補助金2020を活用してみませんか？

参考URL : <https://www.it-hojo.jp/first-one/>

今年通常枠の「A類型」・「B類型」の他に、新型コロナウイルス影響を乗り越える為のIT投資を行う事業者向けに「特別枠（C類型）」が創設されました。通常枠よりも補助率が高い為、IT投資のチャンスです！

Point① 経費区分と補助率

補助対象経費区分	ソフトウェア費用・導入費用		
申請類型	A類型	B類型	C類型
補助率	1/2以内	1/2以内	2/3以内・3/4以内
補助上限額・下限額	30万～150万未満	150万～450万	30万～450万

C類型-1(2/3)
サプライチェーンの毀損への対応
C類型-2(3/4)
非対面型ビジネスモデルへの転換
orテレワーク環境の整備

Point② 対象ソフトウェア

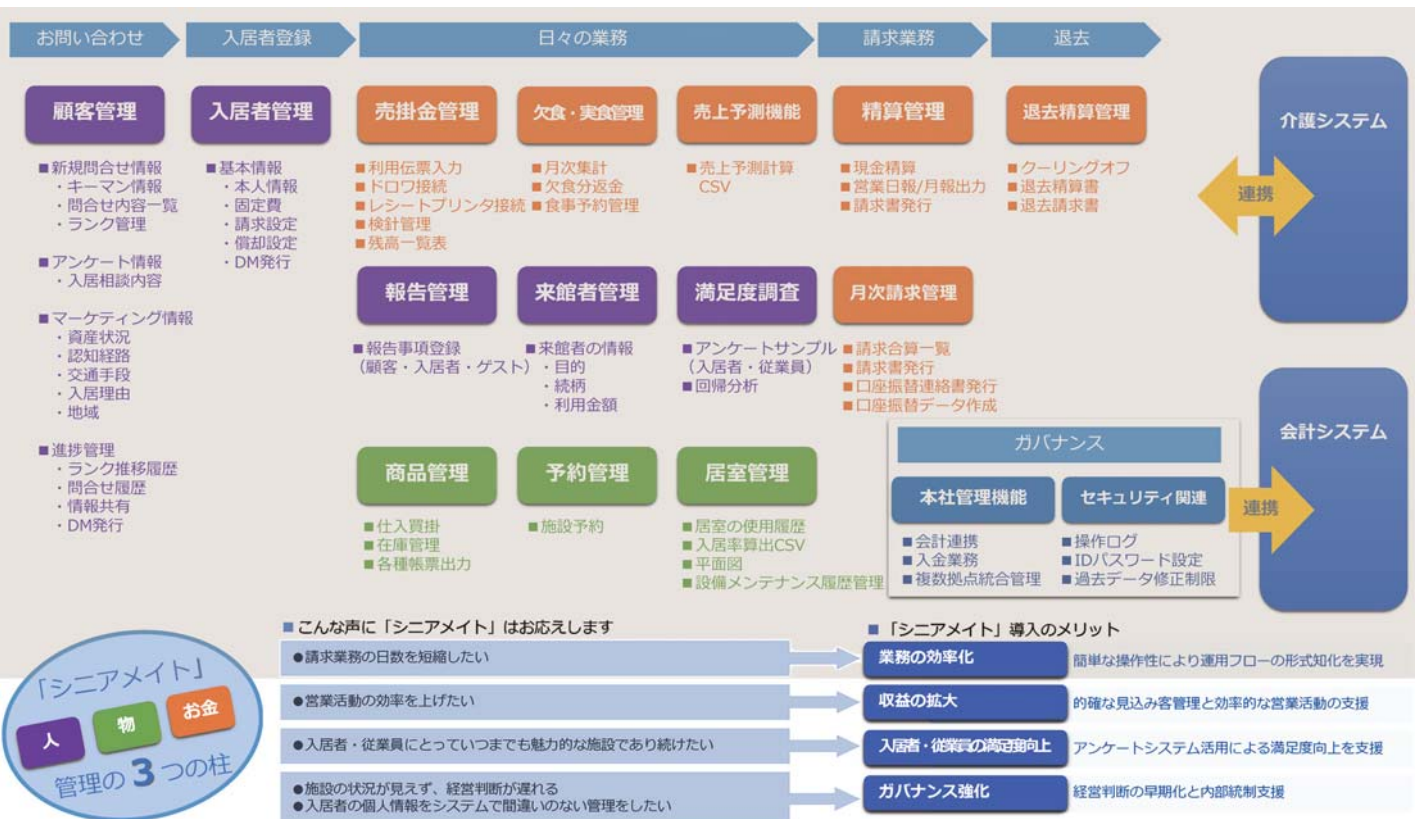
ソフトウェアが下記のプロセスを幾つ対応できるかによって申請可能な類型が変わります。

A類型：プロセス1つ / B類型：プロセス4つ / C類型：プロセス1つ

- ①顧客対応・販売支援
- ②決済・債権債務・資金回収管理
- ③調達・供給・在庫・物流
- ④業務固有プロセス
- ⑤会計・財務・資産・経営
- ⑥総務・人事・給与・労務・教育訓練・テレワーク基盤

**富士テレコムもIT導入支援事業者としてお役立て頂けます！
補助金を利用したIT投資をご検討でしたら、是非お問い合わせください！**

「シニアメイト SaaS」業務フローチャート



ご興味ご関心等ございましたら、お気軽にご相談くださいませ！

【お問い合わせ先】 富士テレコム株式会社
ヘルスケア営業部 第二営業課
ご意見、ご感想をお待ちしております。

TEL 03-3962-0222 担当者 植村・山下・小野寺・沼野
E-Mail seniormate-communication@fujitelecom.co.jp